



約60社が出展

大阪産業局は、大阪中央区の大阪産業創造館で展示会「センサ/IoT/AI技術展2024」を開催した。会場にはセンシング、制御・通信技術、IoT機器やシステム、AIなどの技術を持つ企業約60社が出展。関西に本社を置く企業も集まった。会期中には約610人が来場した。

センサー、IoT、AI技術展 大阪 製造業のDXなどサービス披露



大阪産業創造館で開催された技術展



コーデンシのブースでは空間入力モジュールを実演

せるためのデジタル技術やツールを持つ企業が集まり、センサーやIoT、AIなどの関連製品、技術を紹介。実機のデモを交えながらサービスやソリューションを披露した。センサー技術のコーナーにはコーデンシが出展。「センシングテ

クノロジーで一步先の未来へ」をテーマに測距センサー、空間入力モジュール、超小型RGBレーザー光源モジュールなどを披露。ブースでは、空間入力モジュールを実演した。モジュールは視認性が高く空中に立体的な画像を表示できる「ホ

は、西菱電機が次世代EPC装置やアクセスポイントなどを用意するだけで、音声通信やデータ通信が可能なプライベートネットワークを簡単に構築することが可能。PHSと同一周波数帯利用の開発から生産まで、IoT機器やシステムで、外来ノイズの影響や医療機器・WiFiなどとの電波干渉が少ないことを訴えた。ブースではスマホでの連動デモを行った。

ログラムフィルム」を活用。空中画像に指先が触れると画像が揺らぎ「押ししている感覚」を得られ、操作性を向上するシステム。ブースでは、三つのボタンを押せるデモ機を展示した。PHSを活用している施設に最適なシステムだ。



西菱電機は「sXGP」を紹介

トイレ使用状況表示器をミニチュアサイズで実演。インターホンに取り付け、聞き逃しをさせないようにするインターホン用ワイヤレスチャイムなどの